

視覚障がい教育研究部会

視覚障がい教育研究部会では、宮崎県立明星視覚支援学校にて8月に歩行・点字・情報・弱視の研修会を行いました。



弱視の研修

←弱視児・者の見え方についての研修、ロービジョンケア・訓練視力検査レンズについて（近用レンズや単眼鏡の使い方や指導法）・拡大読書器の使い方・弱視児童生徒の授業における教材や指導方法の工夫などについて研修しました。写真は、拡大読書器の使い方について研修している様子です。

歩行の研修

→弱視や全盲の児童生徒の歩行に関して、視覚障がい者への手引きの仕方・杖なし単独歩行の仕方・白杖歩行の基本操作の指導（白杖の種類、持ち方や姿勢、動かし方などの基本操作や指導の仕方等）・歩行指導における指導過程の検証などを行いました。写真は、校外にてアイマスクをして実際に点字ブロックを手掛かりに白杖歩行体験をしている様子です。



情報の研修

←弱視者や全盲の児童生徒が操作するPCのソフトの基本操作や指導法について研修しました。視覚障がい者が使えるワープロ（マイ・ワード）やPC上の項目等を読み上げるソフト（PC-Talker）の演習・マウスを使わないWindowsのキー操作入力の仕方・点図作成ソフト（エーデル）の活用の仕方と教材作成・iPadの活用方法などについて研修しました。写真はiPadの活用方法の研修です。

点字の研修

→触覚によって読み書きできる点字について、点字の成り立ち・点字器や点字用紙の種類・点字の打ち方・点字の分かち書き・点字の指導の仕方・点字競技会に沿った問題の作成方法や体験演習、採点基準のとらえ方・点字を使った教材作りの演習などを研修しました。写真は研修で使った墨字入り点字本と点図です。

